

国道309号の整備について

【担当省庁】国土交通省

市町村における取組

(現状・課題)

・国道309号は、吉野地区の主要な幹線道路として、周辺住民の生活の利便性を高め、地域振興を図る上で重要な役割を果たしている。

また、紀伊半島のアンカールートである京奈和自動車道、国道169号・国道168号を繋ぐことのできる数少ないルートとして早期の整備促進が期待されている。

・奈良県道路整備基本計画では、国道309号を、南部・東部地域を縦断する骨格幹線道路ネットワークとして位置づけられているが、基幹道路の意義である「企業立地の推進」、「観光の振興」、「生活利便の増進」、「安全・安心の確保」において、十分な役割を果たせていないのが現状である。

・丹生バイパスの完成により、利便性が格段に向上し、京阪神地域からの来訪者も増加する中、黒滝村笠木地内では狭隘でカーブが連続するため、大型車両がスムーズな離合を行うことが出来ず、また冬期においては道路の凍結により運転にかなりの注意を要することから、この区間を安全に通行するための改良(現道拡幅、バイパス等)を求める。そして、天川村北角地区には観光名所の「みたらい渓谷」があり、観光シーズンには中越地区から北角地区にかけて大規模な渋滞が発生し、緊急車両が進入することすら出来ない状況になる。天川村中越地区から上北山村天ヶ瀬間においては、未だ狭隘区間や危険箇所が数多く、その区間にある白倉トンネルは3mの高さ制限があり、車両の対向も行えないことから大きな支障をきたしており、抜本的な整備が望まれている。

・県内有数の観光スポットであり、日本百名山である大峰山(八経ヶ岳)の登山口まで観光バスにて訪れるには、白倉トンネルがネックとなって天川村側からはアプローチ出来ない状況である。また、川迫ダム下方の毛敷谷付近の狭歪区間の拡幅が成れば行者還トンネル西口の登山口などを含め、多くの利用者の利便が向上し、利用者増が見込まれるところである。

・大淀町岡崎交差点の交差点改良も含め、未改良区間の早期整備を行うことにより、県北部地域、京阪神地域との地域間交流が促進され、吉野地域の主産業である林材業や観光業等の産業振興や、防災、定住促進等の地方創生に向けた取り組みにも力を発揮することが期待されている。

・天川村では、みたらい渓谷交通量調査、交通渋滞解消のための警備員配置や車両を駐車することが出来る多目的広場の整備を予定している。



国にお願いすること

・国道309号は、救急医療を支える「命の道」とともに、県南部地域の産業や観光振興を支える道路であるため、社会資本整備総合交付金等の道路整備にかかる必要な予算確保をお願いしたい。

【担当部署】 奈良県市長会・奈良県町村会